

コートの設営方法

- ・バレーコートは、18m×9mの広さを持つ長方形で、最小限3m幅のフリーゾーンで囲まれる。
- ・自由競技空間は、競技場の上方に障害物が一切無い空間である。そして競技場の表面から最小限7mの高さがなければならない。
- ・競技場の表面は凹凸がなく、水平であり、また均一でなければいけない。表面は、競技者の負傷の恐れのないものでなければいけない。荒れたり、滑りやすい表面で競技することは禁止されている。

(平成23年度6人制競技規則第1章第1条より引用)

<<コートの作り方>>

- ① センターラインを貼る。
- ② センターラインの中心から3.00mの所にアタックラインを貼る。(ライン幅を含む)
- ③ アタックラインの両端に20cm間隔で15cmのラインを5つ貼る(全長1.75m)。さらに、その位置からエンドラインに向かって(サイドラインと平行に)20cm間隔で15cmのラインを貼る。**なお、三重県ヤングクラブバレーボール連盟の大会では、コーチ・レストリクション・ラインを基本作成しません。**
- ④ エンドラインをセンターライン中心から9mの所に貼る。(ライン幅を含む)
- ⑤ サイドラインを貼る。この時、ポイント上にラインがあるか確認をする。
- ⑥ サービスライン(空白20cm、実線15cm)を貼る。この時、ポイント上にラインがあるか確認をする。
- ⑦ マスキングテープ(消しテープ)でバレーボール以外のライン(バスケットやバトミントン等のライン)や金具(ポールを立てる穴等)を隠す。
- ⑧ ウォームアップエリアのゾーンをベンチの延長線上に四角く(3m×3m)作成する。もし、隣のコートと隣接している場合は状況にあった形に作成をする。
- ⑨ チームベンチは、必ずアタックラインより1m~1.5m後方に下げ、スペースを作成すること。

※貼り方の手順を間違えたり変えないように

(ヤング全国予選三重県大会のコート設営の手順と同じです)

